

科学技術イノベーションの推進に向けての女性の参画拡大や次世代の人材育成

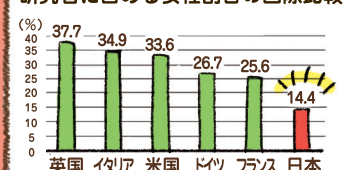
～女性の参画拡大と次世代のグローバルリーダーの人材育成に向けて～

みなさんは、研究者に占める女性の割合はどのくらいだと思いますか？



男性と同じくらいフク?

研究者に占める女性割合の国際比較



日本の場合、研究者が10人いれば、8,9人は男性が占めているという現状です。

男女共同白書平成26年版より作成。カナダはデータなし



男性、女性に関わらず、いろいろな人々の発想を活かして、



次世代を担う科学技術を飛躍的に発展させてくれる人材を育てていく必要があるとつくばコミュニケでは宣言しているようじゃのう!

インタビュー



国立研究開発法人産業技術総合研究所 総務本部ダイバーシティ推進室 室長 井出ゆかり

研究は、新しいものを作り出したり、今までわからなかったことを明らかにしていくもので、とてもやりがいのあることです。常に新しいことを学び、研究を続けることが大切で、それには男性も女性も、毎日の家庭生活を大切にしながら研究に集中できる環境が必要です。

私たちの研究所では、子育てや病気の家族の介護をしながらも研究が続けられるように、働きやすい勤務・休暇制度を取り入れています。また、子育て・介護をしている研究者が周りからの理解と協力が得られるように努めています。女性研究者も年々増えて、各分野で活躍しています。

もう始まっている!
こんなこと

未来を創る科学技術人材育成プログラム

GFEST (ジーフェスト・Global Future Expert in Science and Technology)



筑波大学ではグローバルな未来の科学者育成を目標としているGFESTというプログラムが実施されています。自分が気づいた不思議を徹底的に研究している人や、研究について専門的なアドバイスをもらいたいという人など、科学に強い

興味をもっている中高生が全国から参加しています。

大学教員と大学院生が、それぞれのテーマに合わせて研究や学習をサポートするほか、2か月に1度の共通プログラムでは、筑波大学の先生による最先端科学の講義や、ノーベル化学賞受賞者の白川英樹先生から直接教えていただける実習など、さまざまな分野について学ぶことができます。学校で学ぶ「科学」の枠を超え、やりたい研究のサポートを受け、受講生は国内外の科学コンテストや、科学オリンピック等で高い実績を上げています。

もう始まっている!
こんなこと

最先端の技術を学び、仲間と共に考えよう イノベーションキャンパスinつくば

茨城県とつくば市では、全国の高校生に科学の素晴らしさやイノベーションの大切さを学ぶ機会を提供する「イノベーションキャンパスinつくば」を毎年夏に開催しています。

2016年は、8月18日から20日までの3日間、全国約170校の高校生、さらには海外からの高校生が参加しました。

金星探査機「あかつき」プロジェクトマネージャであるJAXA宇宙科学研究所中村正人教授の基調講演をはじめ、つくばの研究機関・大学の研究者や企業の技術者の講義を受講するとともに、つくば市内の研究機関を訪問し、科学技術を活用した課題解決の発想を学びました。

